

# 地域ごとのまちづくり計画

## (西谷地区まちづくり協議会)



令和 2 年（2020 年）3 月策定

## 目 次

はじめに .....	1
現状と課題 .....	2
まち 地域の将来像 .....	3
基本目標 .....	3
具体的な取り組み .....	4
あとがき .....	12
資料 .....	13

## 【はじめに】

宝塚市の北部、市域の約三分の二を占める西谷地区は、周囲を丘陵性の山並みに囲まれた近郊農村である。昭和30年（1955年）に宝塚市へ編入合併して以来65年、県による宝塚新都市計画をはじめいくつもの振興策が立案されたが、社会情勢の変化により実現されず、現在に至っている。そのため現在の西谷地区は、都市近郊に位置しながらも、里山景観と伝統に根ざす暮らしが数多く残してきた地域である。

一方、平成30年（2018年）に新名神高速道路が開通、宝塚北サービスエリア及び宝塚北スマートインターが開設され、新たなまちづくりを進める契機となっている。そのため、西谷地区住民と行政が協働して「まちづくり」を推進せねばならないと考え、西谷地区まちづくり協議会と西谷自治会連合会は「これから西谷を考える会」を発足させ、平成27年秋には「住民意識調査」により西谷地区への想いを把握するとともに、小中学生から「未来の西谷」に対する声を聞き、さらには西谷に職場がある方々から「西谷への思い」を伺う調査も実施した。西谷に関わる全ての人びとの意見をもとに検討を重ねて、平成30年（2018年）には西谷地区の将来像・行動計画を整理した「西谷ビジョン」をとりまとめた。

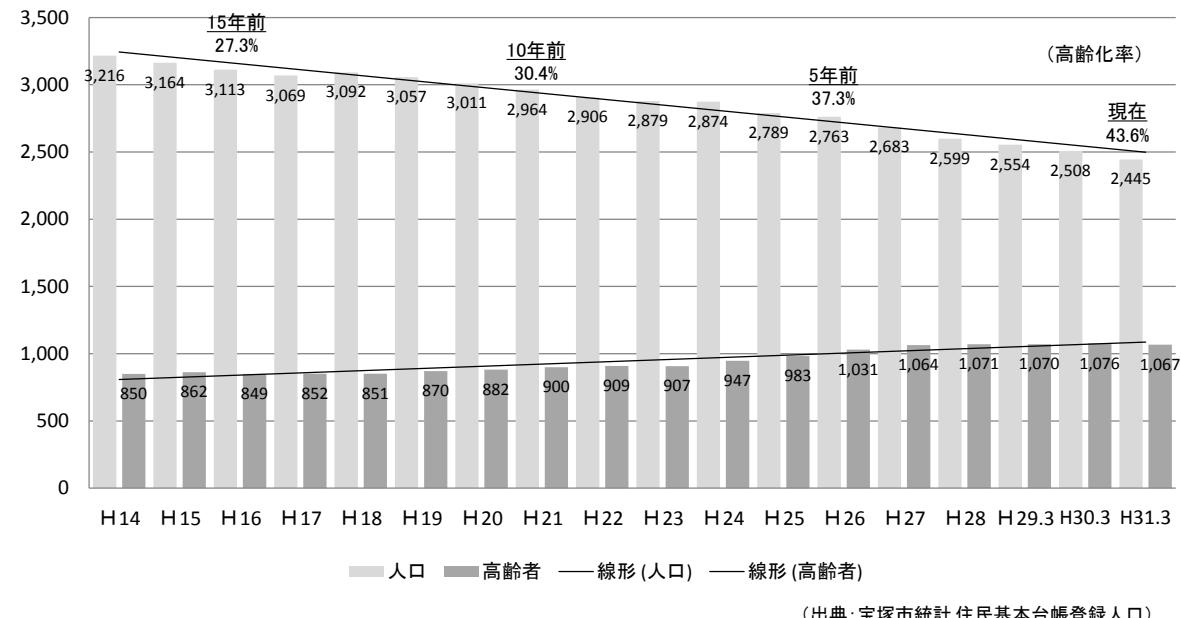
それを踏まえて平成30年（2018年）から約2年にわたり、令和3年度からの「第6次宝塚市総合計画」の一環として位置付けられる西谷地区まちづくり計画の検討も進められた。計画策定にあたっては、地域カルテにより人口、高齢化率など各種統計データを把握、平成16年（2004年）12月にまとめられた現まちづくり計画の進捗状況を確認し、ワークショップ等も実施してきた。また、さまざまな関係者が分野横断的に自由に意見交換を行うべく、現まちづくり計画の5つのテーマを、「安心・安全」「文化・教育」「産業・環境」の3つに集約し、分科会に分かれて検討しながら幹事会で全体の計画のとりまとめをおこなった。今後は、本計画の各項目の実現に向けて、柔軟に新しいアイデアも取り入れながら、行動に移していくものとする。



## 【現状と課題】

### 1. 安心・安全

- ・合併当時約 5,800 人を数えた住民の数は、年々減少しており、平成 31 年（2019 年）3 月現在で 2,445 人と半減した。高齢化率は年々増加傾向で、平成 31 年（2019 年）3 月現在で 43.6% となっており、単身者暮らし・二人暮らし世帯が急増している。
- ・人口減少による地域社会の担い手不足、地域活力の低下が課題となっている。
- ・自動車がなくては暮らしれないため、買い物・医療など日常生活維持も不安視されている。今後、健康に暮らすための支援システムづくりや高齢者等の見守り、支え合い、外出支援等の仕組みの充実などが求められる。
- ・さらに、近年の自然災害による日常生活への不安（山林・河川・溜池など生活環境の保全・維持）も課題となっている。



(出典:宝塚市統計 住民基本台帳登録人口)

### 2. 文化・教育

- ・少子化の影響により、児童・生徒が減少し、複式学級さらには廃校さえ懸念される。こういう現状に対して、行政の取組みや地域としての支援体制が不十分と考えられる。
- ・少子化と伝統的村落が維持してきた相互に助け合う地域のあり方の変化は、伝統文化の保存及び発掘に対する不安をもたらせるのみならず、新たな文化の創造に向けた支援を不足させている。
- ・地理的位置も関係して生涯学習を含む社会教育の機会が不足しているという現状のもと、その情報発信が徹底されにくいという課題がある。
- ・「地域で子どもを育てる」という視点から、子育てに対する地域あるいは地域住民としての支援が不十分である。

### 3. 産業・環境

- ・暮らしを支える主な仕事が農業ではなくなり、専業農家はわずかな人しかいない。今後も農家の減少、耕作放棄地の増加が危惧される。地域の特産であるダリア等についても生産の担い手の不足が課題となっている。

- ・交流人口、関係人口、さらには定住人口を増やすために、環境整備が必要である。
- ・「花の里・西谷」活動や、環境省から「生物多様性保全上重要な里地里山」として認定される景観を有しており、この地域が持っているポテンシャルを活かした取り組みが望まれる。

## 【地域の将来像】

人びとが心身ともに豊かさと元気があふれ、安全・安心に暮らせるまち

当地域の将来は、その自然、歴史・文化、産業などを受け継ぎつつ、社会・経済の変化に対応できるように地域資源の更なる活用を図りながら、住まう人にはこの地に暮らす喜びが実感できるまちに、訪れる人には安らぎと癒しを覚えるまちに求めたい。

## 【基本目標】

### ○安心・安全

1. 防災・防犯のまちづくり
2. 多世代が交流できるまちづくり
3. 健康で暮らせるまちづくり

### ○文化・教育

4. 新旧のさまざまな文化が溢れるまちづくり
5. 地域で守り地域で育てる教育のまちづくり
6. 地域を学園とみて豊かな心を育むまちづくり
7. 人に温かく思いやりのあるひとづくり

### ○産業・環境

8. 農あるまちづくり
9. 都心からちょっと足を延ばして楽しめる環境づくり
10. 移住の受け皿づくり
11. 自然と共生する環境づくり



## 【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継 続	新 規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20 年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
					21 年	22 年	23 年	24 年	25 年					
【安心・安全】	(1) 非常に助け合えるまちづくり													
1. 防犯・防災のまちづくり	1 治自会単位の自主防災組織の充実	○								○			自主防災組織による避難訓練	
	2 危険個所の安全確認	○								○			河川・溜池・急傾斜地、道路等危険個所の監視	
	3 危険個所の啓発と看板の推進	○								○				
	4 管理組織体制の確立とパトロールの実施	○								○				
	5 必要に応じて防災工事の実施を要望	○								○				
	(2) 災害対策													
	1 家族内での話し合いの促進（備蓄・避難ルートの確認など）	○							→	○				
	2 各家庭の備蓄について啓発	○						→			○		備蓄基地の整備（国保診療所）	
	3 既存施設を利用した避難所の指定（届出避難所など）	○						→			○		届出避難所（中部・西部・鶴見台各集会所指定不可）	
	4 避難計画の作成（避難方法・ルート等）	○						→			○		指定避難所（西谷小学校）	
	5 避難場所・物流拠点の確認と訓練の実施	○						→			○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
	(3) 交通事故防止対策													
	1 安全運転の推進	○								○				高齢者の免許証返納の呼びかけ
	2 道路・歩道の危険個所の確認	○									○			
	3 街路灯・防犯カメラの設置充実と維持管理	○									○			
	(4) 火災の防止													
	1 野焼き等の火の取り扱いマナーの向上		○							○				野焼き等の火の取扱講習の実施
	2 ハイキングコースの火災防止の看板の点検と設置	○										○		
	(5) 情報伝達手段の充実													
	1 タブレット端末等の活用による生活情報の共有		○								○			西谷ふれあいメールの加入促進、兵庫防災ネット
	2 緊急時安否情報確認システム等の研究	○									○			
	3 防災無線等情報伝達手段の充実	○									○			防災スピーカーの設置
	(6) 高齢者等への啓発と支援対策													
	1 災害時要援護者支援の充実	○								○				
2. 多世代が交流のできるまちづくり	(1) 福祉の拠点づくり													
	1 なんでも相談所の運営（内容の充実など）	○									○			なんでも相談所（毎週金曜日）開設
	2 ボランティアによる外出支援の充実		○								○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
	3 各自治会単位での支え合い会議の充実		<input type="radio"/>							<input type="radio"/>				
	4 各自治会集会所等の活用による交流の推進			<input type="radio"/>								<input type="radio"/>		サークル活動の充実・サロンの充実
3. 健康で暮らせるまちづくり	(1) 地域医療の維持・充実													
	1 夜間・休日等の受け入れ体制の充実		<input type="radio"/>							<input type="radio"/>				
	2 在宅医療の充実			<input type="radio"/>							<input type="radio"/>		かかりつけ医の確保、往診診療	
	3 医療施設の維持充実と利用促進		<input type="radio"/>							<input type="radio"/>				
	4 リハビリ施設の充実			<input type="radio"/>								<input type="radio"/>	県有地の有効活用、西谷地区全体の魅力づくり	
	(2) 施設のバリアフリー													
	1 公共・公益施設のバリアフリー化の促進		<input type="radio"/>							<input type="radio"/>			境野・大岩谷・切畠整備済、西谷認定子ども園未整備	
	2 武田尾駅のエレベーターの設置・多機能トイレの充実			<input type="radio"/>							<input type="radio"/>		地域住民と行政が協働して要望	
	(3) 介護予防と健康スポーツの推進													
	1 就労機会、趣味の集まり等の参加促進		<input type="radio"/>							<input type="radio"/>			スポーツクラブ21活動への参加促進	
	2 スポーツ大会の推進			<input type="radio"/>							<input type="radio"/>			
	3 健康散策ルートの整備（ハイキングルートとしても地域外へ発信）		<input type="radio"/>								<input type="radio"/>			
	4 安心して自転車が走れる道路の整備			<input type="radio"/>								<input type="radio"/>	自転車走行帯など	

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
5 サークル活動（ウォーキング、ジョギング、サイクリング等）の組織化と充実	○								→	○				
6 健康・スポーツ活動の情報発信	○								→	○				
【文化・教育】		(1) 伝統的文化の承継と新たな展開												
4. 新旧のさまざまな文化が溢れるまちづくり	1 各集落の年中行事等の承継と西谷地区としての支援	○							→	○				他集落との連携などを検討
	2 地域の有形・無形文化財（社寺、石塔、道標、民具、伝承、伝説等）の保全、収集、記録		○						→		○			郷土史等による記録保存は喫緊の課題
	3 歴史民俗資料館（旧東家住宅）の再整備と活用		○						→		○			整備は行政、活用は協働
	4 伝統芸能の保存及び公開		○					→			○			伝承者が少数。着手が急がれる
	5 郷土文化研究グループ（仮称）の発足と「郷土誌」の作成		○					→			○			中核人物が必要
	6 伝統的食文化に基づく新たな食品の開発と展開		○					→		○				
(2) 新たな文化の創造と展開														
1 文化活動（美術、文芸、音楽、茶華道等）の推進	○								→	○				
									→	○				連携組織がない
									→		○			拠点施設の整備と活用が目標
3 文化活動（伝統芸能を含む）拠点の充実に向けた調査研究			○						→		○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
	4 西谷の自然と文化を知る取り組み（学習会、歴史散策等）の充実と積極的発信	○							→			○		
5. 地域で守り地域で育てる教育のまちづくり	(1) 生涯学習の充実と文化の世代間交流													
	1 地域文化に関わる情報の広報紙等による発信	○						→		○				
	2 住民対象の学習機会（講演会、見学会等）の充実	○						→		○				費用確保が課題
	3 生涯学習の場の充実（図書館機能、集まる場づくり）		○					→		○				情報発信の中核に
	(2) 将来を見据えた人間関係の構築													
	1 子ども会、老人会等の交流の充実	○						→		○				西谷地区の連帶の再構築を目指す
	2 挨拶、声掛け、見守り運動の実施	○						→		○				住民運動として方向性を持って取り組む
	3 新たな住民の受入れと新旧住民の交流の促進		○				→			○				新住民の受入れに意識改革が必要
6. 地域を学園とみて豊かな心を育むまちづくり	(1) 地域文化の中核としての学校への支援													
	1 学校教育の維持、継続への支援（学校の魅力発信を含む）	○						→		○				特色ある学校づくりへの住民の協力体制の構築
	2 学校を地域文化の拠点とみる住民意識の構築		○					→		○				「地域そのものが学校」という意識構築
	3 地域におけるトライやるウィークの推進	○						→		○				受け皿となる企業等の充実

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
4. コミュニティスクールの推進	4 コミュニティスクールの推進	○					→				○			
	5 学校行事、体験学習、登下校時等への住民の協力	○					→				○			個人の協力も得る
	6 地域の食材を活かした給食の推進	○					→					○		
	7 地域住民のPTA・PTCA活動への参画、協力		○				→				○			PTCA、PTAに頼らない住民がこぞって協力する体制づくり
7. 人に温かく思いやりのあるひとづくり	(1) 地域で子どもたちを育てる活動の拡大													
	1 スクラム会議の充実と情報の共有	○					→				○			
	2 地区公民館の開放等による子どもの居場所づくりの推進		○				→				○			自治会の協力体制の構築が不可欠
	3 子ども集団（子ども会ほか）の活性化への支援	○					→				○			子ども会衰退への対処
	4 子育て世代への支援活動（地区による見守り等）の充実		○				→				○			「地域で子どもを育てる」伝統の再構築
	5 児童館活動との連携のための住民組織の強化		○				→				○			
8. 農あるまちづくり	(1) 農業生産の効率化・合理化													
	1 農地の集約化	○					→				○			
	2 農業法人化の推進	○					→				○			
	3 中核施設の整備	○					→				○			ライスセンター、育苗施設の充実

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
	(2) 安全安心な農作物づくりとプレミアム化													
	1 環境に配慮した農業の勉強会	○									○			ため池の保全と水田生態系の保全など
	2 環境に配慮した農作物の生産・普及	○									○			プレミアム化
	3 新たな西谷ブランド作物の研究・開発、発信	○									○			太ネギ、ダリアなど
	4 花を活かした新たな商品の研究・開発		○							○				ダリアの加工など
	5 農家レストランの開設推進		○							○				
	(3) 新規就農者の受入れ・支援													
	1 農業の後継者の育成		○							○				水稻、野菜、ダリアなど
	2 農地のマッチングシステムの構築		○								○			遊休農地情報の集約、貸し出しなど
	3 市民農園の設置・普及の検討	○								○				
	4 農地情報の地区外への情報発信と技術指導組織の構築	○								○				
9. 都心からちょっと足を延ばして楽しめる環境づくり	(1) 西谷の玄関口の整備													
	1 西谷の玄関口の活性化		○								○			宝塚北サービスエリア、武田尾駅前など
	(2) 遊休施設の活用													
	1 宝塚自然の家の利活用促進		○								○			
	2 県有地の利活用に関する調査研究	○										○		県有地の有効活用、西谷地区全体の魅力づくり（再掲）

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
10. 移住の受け 皿づくり	(3) 来訪者の呼び込み													
	1 健康散策ルートの整備		○								○			ハイキングルートとしても地域外へ発信
	2 観光資源の情報発信の強化	○									○			
	3 エコツーリズムの推進		○								○			
	(4) 花の里の整備・発信													
	1 植樹活動の推進		○								○			
	2 花の里・西谷の PR		○								○			上佐ダリア園、長谷牡丹園など
	(1) 地域住民の意識改革													
	1 移住受入れの勉強会の開催		○		→						○			
	2 集落ルールの緩和		○								○			地区隣保組織の役割の見直しなど
	3 新たな住民の受入れと新旧住民の交流の促進		○		→						○			
10. 移住の受け 皿づくり	(2) 空き家の活用と地区外への発信													
	1 空き家活用登録制度の立ち上げ		○		→						○			空き家情報の収集
	2 移住相談窓口の設置		○								○			宝塚市空き家バンクとのマッチング
	3 空き家めぐりツアーの開催		○		→						○			
	(3) 土地利用規制の緩和を活かしたまちづくりの推進													
	1 移住促進に向けたまちづくりルールの策定・運用		○		→						○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
	2 地内外住民の交流の場づくり		○							○				コミュニティスペース、シェアオフィスなど
11. 自然と共生する環境づくり	(1) 「生物多様性保全上重要な里地里山」としての保全													
	1 希少な野生動植物の保全	○									○			
	2 外来種等による生態系への被害防止	○									○			
	3 生物多様性の保全活動	○									○			丸山湿原群、松尾湿原の保全活動など
	(2) 循環型社会の形成													
	1 循環型社会形成に向けた勉強会の開催		○								○			

## 【あとがき】

平成30年（2018年）より約2年にわたり西谷地区まちづくり計画の見直し作業に着手し、地域の皆さんからの数多くのご意見やご提案をいただき、令和3年度（2021年度）にスタートする宝塚市第6次総合計画の一環として位置付けられる本計画をまとめることができました。

作成にあたりご支援、ご協力いただきました各界・各分野、地域住民の皆さんに心より厚く御礼申しあげます。

計画づくりはまちづくりの第一歩であります。この計画を具現化し実行していくことがなにより大事であります。計画→実行→点検を重ねながら、どこよりも安全で安心して暮らせる住みやすい、魅力あるまちづくりの実現に、地域の皆さんと共に取り組んでいきたいと思います。

## 【資料】

### 1. まちづくり計画に参加してくださった方々

※分科会メンバーの「◎」はリーダー、「○」は副リーダー

※幹事会はリーダー・副リーダーで構成

#### ○第1分科会（安心・安全）

◎塗家 昭彦	福井 仁
○小畠 健二	西田 實
○辻 孝治	石井 一雄
龍見 正範	中林 正行
島田 良子	清水 熱
小中 和正	松本 順子
小谷 瓦	藏本 直文
濱田 裕一郎	和田 哲也
石井 幹雄	尾山 重治
今北 幸雄	中井 喜美代

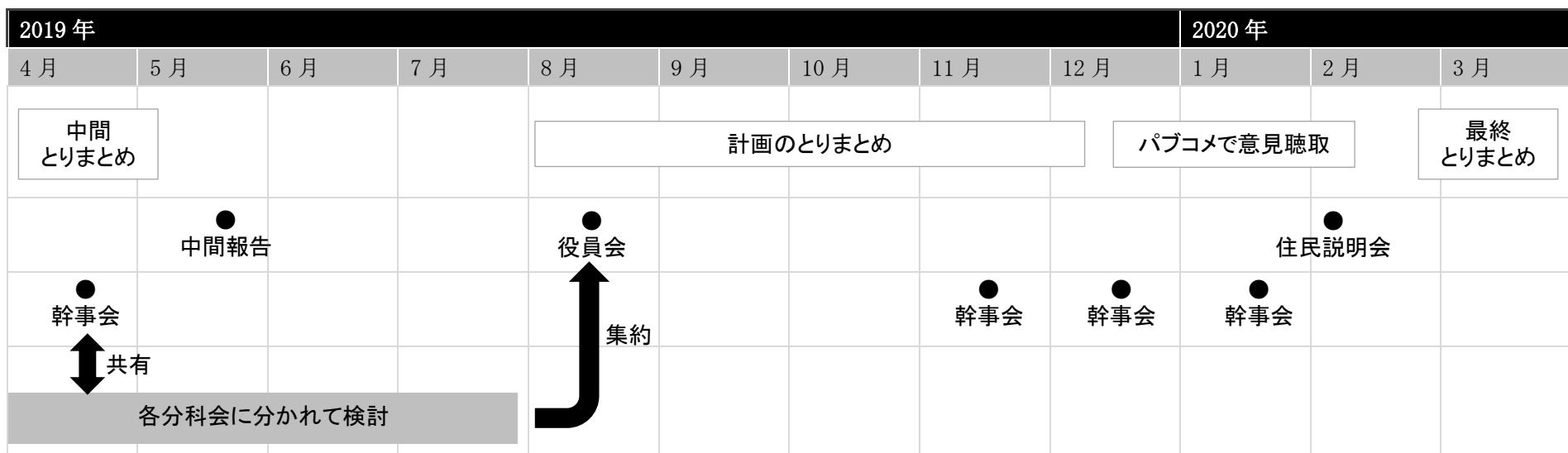
#### ○第2分科会（文化・教育）

◎白石 太良	森本 郁美
○福本 真一	足立 有里
奥田 正明	辰巳 佳成
和田 秀彰	前中 正幸
今北 さゆり	中林 正行
中谷 省三	
川口 レイ	
東 夏子	
森中 優子	
青木 夏紀	

#### ○第3分科会（産業・環境）

◎二井 久和	前田 徹
○西田 勝	松尾 亜紀子
○宮上 佳江	前西 多万美
中村 豊	南 豊
岡田 幹夫	今住 悅昌
西田 均	石井 彰
大上 修	龍見 奈津子
中井 二	
福田 俊治	
前中 清美	

## 2. まちづくり計画策定の過程



### 3. 会議の開催の流れ

#### ○全体検討会議（幹事会・役員会・拡大役員会等）

平成 29 年 11 月 ～平成 30 年 7 月	役員会	まちづくり計画の見直しについて市・コンサルより説明 これまで検討されてきた西谷ビジョンのとりまとめ
平成 30 年 7 月 26 日	役員会	現行のまちづくり計画の進捗状況の確認
平成 30 年 8 月 1 日	幹事会	現行のまちづくり計画の進捗状況の確認
平成 30 年 9 月 19 日	拡大役員会	まちづくり計画見直しガイドラインの確認、今後の進め方について協議
平成 30 年 10 月 24 日	幹事会	作業スケジュール・ワークショップの進め方の検討
平成 30 年 11 月 9 日	役員会	ワークショップの開催
平成 30 年 11 月 19 日	幹事会	グループ分けと構成メンバーの検討
平成 30 年 11 月 28 日	拡大役員会	地域カルテで地域の現況の共有、新分科会の設置と分科会討議の進め方について
平成 31 年 1 月 23 日	幹事会	分科会の検討結果共有、情報交換等
平成 31 年 3 月 6 日	幹事会	分科会の検討結果共有、情報交換等
平成 31 年 4 月 22 日	幹事会	分科会の検討結果共有、情報交換等
令和元年 5 月 25 日	総会	まちづくり計画中間報告
令和元年 8 月 28 日	役員会	まちづくり計画とりまとめに向けた検討
令和元年 11 月 19 日	幹事会	まちづくり計画とりまとめに向けた検討
令和元年 12 月 16 日	幹事会	まちづくり計画とりまとめに向けた検討
令和 2 年 1 月 24 日	幹事会	まちづくり計画とりまとめに向けた最終調整
令和 2 年 2 月 2 日	住民説明会	住民からの意見聴取

#### ○各分科会での検討

第 1 分科会 (安心・安全)	平成 30 年 12 月 25 日
	平成 31 年 1 月 18 日
	平成 31 年 2 月 1 日
	平成 31 年 2 月 28 日
	令和元年 7 月 11 日
第 2 分科会 (文化・教育)	平成 30 年 12 月 18 日
	平成 31 年 1 月 31 日
	平成 31 年 2 月 19 日
	平成 31 年 4 月 10 日
	令和元年 7 月 16 日
第 3 分科会 (産業・環境)	平成 31 年 1 月 15 日
	平成 31 年 2 月 13 日
	平成 31 年 3 月 4 日
	平成 31 年 4 月 18 日
	令和元年 5 月 15 日
	令和元年 6 月 26 日